

行政視察報告書

令和4年1月11日

長浜市議会議長

様

長浜市議会議員

矢守 昭男

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 行政視察
2. 視察期間 令和 4年 1月 6日 (木)
3. 視察場所及び目的
 - ① 滋賀県東近江市
 - ・空き家活用について
 - ・古民家再生の拠点づくりについて
 - ・過疎地域住民ホテル計画について
 - ・箕川未来協議会との意見交換会について

4. 調査内容感想等

・視察の目的

空き家活用について、高齢化率が9割近い東近江市奥永源寺地域の箕川町で地元住民らが空き家を活用した1棟貸しホテルの開業を目指す取り組みや課題について、行政、地域と協議会の連携支援、また、空き家の活用や事例研究として今後の計画、活用の一助となるよう視察研修を行いました。

・視察の内容

東近江市役所から空き家活用の現状及び支援体制について説明を受けました。
東近江市箕川町内で2017年から木製玩具「クノミ工房」を営む井上慎也さんから、地元住民の声が聞こえる集落として再生を求める環境・計画について、また、

地域に一時の住人として滞在しながら、箕川町の再興・若者の地方回帰の促進・林業の振興など、未来に繋がる豊かな地域づくりを推進する為の取組内容を伺った後意見交換を行いました。

具体的には、まずリノベーション事業について住人の方々へ理解いただくため、空き家活用について協力体制のお願いから始まり、実際に作業を行い、国や市の支援に頼る事無くスタートされた先行事例として学びました。

地域課題や資源の活用、地域外資源の活用、未来に繋がる必要な取組や事業、成果を上げる取組や、若い世代が働き甲斐を感じる社会環境の展開について特に学びました。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

今回の視察研修と意見交換会を通じて感じたことから申し上げるとするならば、地元住民との連携支援に、行政担当者の方に一緒に考える場所へ入ってもらい、補助金に頼らない事業として進める必要があると思いました。

また、森林組合などの関係団体と連携体制を築くとともに情報交換会等を通じて、様々な情報を共有し、今後、国からのモデル事業補助金の活用、空き家の問題・課題や活用について、東近江市箕川未来協議会の先行事例を参考に本市の取組を進めます。